

**特別勘定が投資対象とする大和アセットマネジメント株式会社が設定運用する
投資信託に関する変更のお知らせ**

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」の特別勘定が投資対象とする大和アセットマネジメント株式会社が設定運用します投資信託につきまして、下記のとおり変更となりますのでお知らせいたします。

記

1. ベンチマーク（インデックス、または指数とも表記）の変更

[特別勘定名] 投資対象とする投資信託名	変更内容		変更日
	変更前	変更後	
[海外株式 (RG)] iFree 外国株式インデックス (為替ヘッジなし)	MSCI コクサイ指数 (円ベース)	<u>MSCI コクサイ指数 (配当込み、円ベース)</u>	2023年 6月1日

(1) 変更内容および理由

配当を含まない指数をベンチマークとしていますが、より分かりやすい情報開示を行うため、運用の実態に即して配当を含む指数にベンチマークを変更します。ベンチマークの変更による対象ファンドの運用に影響はございません。

2. 各種資料の記載等について

「特別勘定のしおり」等の各種資料におきましては、当該箇所を「変更後」のとおりお読み替えください。

なお、本件変更後も特別勘定が投資対象とする投資信託の運用方針等に変更はございません。

以上

チョイス & チェンジ

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2023年5月発行 (2023年4月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<https://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続きやご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。



カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

- ・消費税率の引上げにより、令和元年10月1日以降は信託報酬にかかる消費税率が10%になっております。
- ・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>」「商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名		特別勘定が投資対象とする投資信託名	特別勘定の運用方針	委託(運用)会社	信託報酬率(税込)
日本株式	日本株式 (RG)	CAリソナジャパン・バリュース・ファンドVA (適格機関投資家専用)	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率0.154%程度 (実質: 最大年率0.704%程度)* ¹
海外株式	米国株式 (RG)	フィデリティ・US エクイティ・インカム・ファンド (適格機関投資家専用)	米国株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) フィデリティ投信株式会社 (投資顧問会社) FIAM LLC	年率0.792%程度
	海外株式 (RG)	iFree 外国株式インデックス (為替ヘッジなし)	日本を除く世界各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和アセットマネジメント株式会社	年率0.209%程度
新興国株式	新興国株式 (RG)	DWS世界新興国株式ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称: BRICsプラスVA>	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) ドイツ・アセット・マネジメント株式会社 (投資顧問会社) DWSインベストメント GmbH	年率1.045%程度
日本債券	日本債券 (RG)	iFree 日本債券インデックス	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。	大和アセットマネジメント株式会社	各月ごとに決定* ²
海外債券	海外国債 (RG)	iFree 外国債券インデックス	日本を除く主要国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和アセットマネジメント株式会社	年率0.198%程度
イー海外ドハ債イ券	海外ハイイールド債券 (RG)	CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA (適格機関投資家専用) <愛称: リソナベア・ハイインカムVA>	米国および欧州のハイイールド債券(高利回り債券)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率0.209%程度 (実質: 最大年率0.8915%程度)* ¹
新興国国債	新興国国債 (RG)	GIM FOFs用 新興国ソブリン・オープンF (適格機関投資家専用)	新興国の政府または政府機関の発行する債券を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社 (投資顧問会社) JPモルガン・インベストメント・マネージメント・インク	年率0.671%程度
グローバル	グローバルリート (RG)	CAグローバルREITファンドVA (適格機関投資家専用)	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券(REIT)を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることがを目標とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	(運用会社) アムンディ・ジャパン株式会社 (投資顧問会社) 株式会社りそな銀行	年率0.528%程度
マネー	マネープール (RG)	CA マネープールファンド (適格機関投資家専用)	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムンディ・ジャパン株式会社	各月ごとに決定* ³

*1 これら投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。

*2 信託報酬率は、毎月10日(休業日の場合翌営業日)における新発10年国債の利回り(日本相互証券株式会社発表の終値)に応じて、純資産総額に対して以下の率とします。
(新発10年国債の利回りが)
イ. 1%未満の場合 … 年率0.132%(税込)
ロ. 1%以上の場合 … 年率0.242%(税込)

*3 信託報酬率は、各月毎に決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日までの信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.33を乗じて得た率(以下「当該率」といいます)とします。ただし、当該率が年0.055%以下の場合には、年0%超 0.055%(税込)以内で委託会社が任意に定める率とし、年0.385%超の場合には、年0.385%(税込)とします。
なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がその他費用としてかかりますが、各投資信託の運用状況等によって異なるため、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難であり表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映され、お客さまに間接的にご負担いただくことになります。また、これら運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更されることがあります。

* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク、お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2023年4月30日現在)

日本株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.47%	投資信託	94.36%
224.56	3ヵ月	5.32%	現預金等	5.64%
	6ヵ月	6.33%		
	1年	7.35%		
	3年	50.88%		
	設定来	124.57%		

米国株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.15%	投資信託	94.75%
292.79	3ヵ月	2.04%	現預金等	5.25%
	6ヵ月	-5.90%		
	1年	4.31%		
	3年	78.39%		
	設定来	192.79%		

海外株式 (RG)



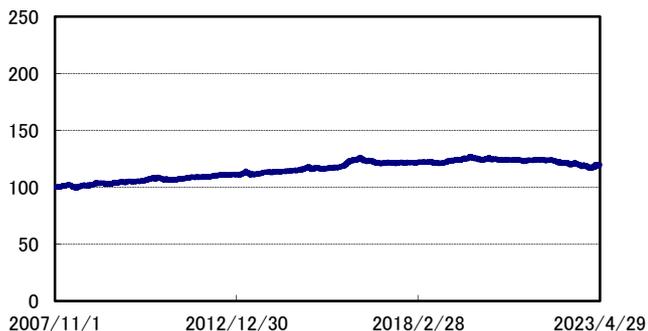
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.59%	投資信託	94.99%
370.53	3ヵ月	5.47%	現預金等	5.01%
	6ヵ月	-0.04%		
	1年	6.58%		
	3年	64.36%		
	設定来	270.53%		

新興国株式 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	-2.36%	投資信託	93.93%
104.71	3ヵ月	-5.88%	現預金等	6.07%
	6ヵ月	1.21%		
	1年	3.01%		
	3年	-5.92%		
	設定来	4.71%		

日本債券 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.23%	投資信託	94.69%
119.91	3ヵ月	2.58%	現預金等	5.31%
	6ヵ月	0.55%		
	1年	-1.23%		
	3年	-3.96%		
	設定来	19.92%		

海外国債 (RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.68%	投資信託	95.51%
134.96	3ヵ月	3.04%	現預金等	4.49%
	6ヵ月	-3.56%		
	1年	-0.56%		
	3年	7.44%		
	設定来	34.96%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。
 ※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。
 ※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2023年4月30日現在)

海外ハイールド債券(RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	1.81%	投資信託	95.08%
192.99	3ヵ月	2.76%	現預金等	4.92%
	6ヵ月	-0.18%		
	1年	2.63%		
	3年	27.24%		
	設定来	92.99%		

新興国国債(RG)



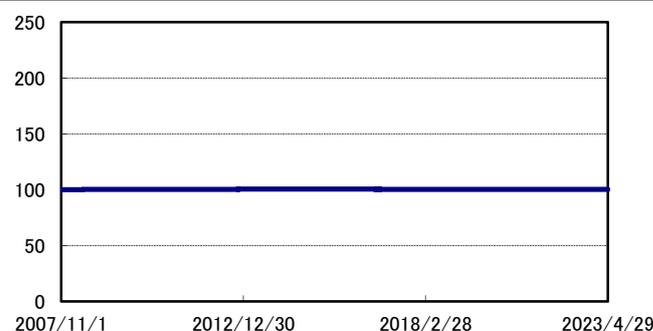
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注) -
182.07	3ヵ月	0.00%	現預金等	-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	-1.52%		
	3年	14.05%		
	設定来	82.07%		

グローバルリート(RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	2.67%	投資信託	94.95%
183.20	3ヵ月	-2.44%	現預金等	5.05%
	6ヵ月	-4.90%		
	1年	-13.58%		
	3年	43.10%		
	設定来	83.20%		

マネープール(RG)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	50.07%
100.17	3ヵ月	0.00%	現預金等	49.93%
	6ヵ月	-0.02%		
	1年	-0.03%		
	3年	-0.07%		
	設定来	0.17%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

(*注) 当資料の基準月末時点において、「新興国国債(RG)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2022年5月20日以降変動していません。

・「チョイス&チェンジ」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAりそな ジャパン・バリュー・ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年4月28日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用することを基本とします。
・主として、わが国の株式に投資を行うファンドと本邦通貨表示の短期公社債等に投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.41%	5.43%	6.54%	9.64%	51.94%	125.37%

◆ ファンド概況

基準価額	22,537円
純資産総額	5百万円
設定日	2008年6月2日
決算日	原則 4月20日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

Amundi Funds ジャパン・エクイティ・バリュー	95.90%
CAマネープールファンド	0.61%
現預金等	3.48%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

4月の国内株式市場は上昇しました。月初は予想よりも弱かった米国の経済指標を嫌気した米国株に連れて軟調な推移となりました。その後、植田日銀新総裁が着任時の会見で早期の金融政策変更を否定したことを受け株価は反転しました。また、米国の著名投資家のウォーレン・バフェット氏が日本株への追加投資を検討しているとの報道や、米国のインフレ懸念が後退したことも下支え要因となり国内株式市場は上昇を続けました。月後半には決算発表の本格化を控え株式市場の上昇は緩やかになったものの、月末には日銀の金融政策決定会合の結果が、大方の予想通り緩和策維持であったことなどから一段高となり月末を迎えました。

「CAりそな ジャパン・バリュー・ファンドVA」が投資する「Amundi Funds ジャパン・エクイティ・バリュー」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	2.49%
2	大日本印刷	その他製品	2.37%
3	リコー	電気機器	2.37%
4	富士通	電気機器	2.30%
5	NIPPON EXPRESSホールディングス	陸運業	2.26%
6	三越伊勢丹ホールディングス	小売業	2.25%
7	セガサミーホールディングス	機械	2.22%
8	アース製薬	化学	2.21%
9	サカタのタネ	水産・農林業	2.21%
10	カシオ計算機	電気機器	2.21%
組入全銘柄数: 69 銘柄			上位10銘柄合計 22.89%

◆ 組入上位5業種

業種	比率
電気機器	18.75%
機械	9.17%
化学	7.85%
陸運業	7.46%
サービス業	6.16%

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

米国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 フィデリティ投信株式会社

【投資顧問会社】 FIAM LLC

2023年4月28日現在

◆ ファンドの特色

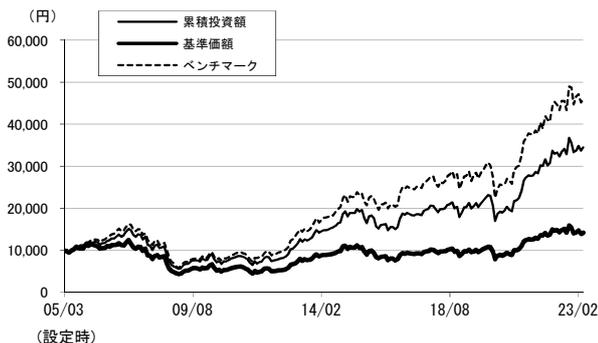
フィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンドへの投資を通じて、主として、米国の取引所に上場(これに準じるものを含みます。)されている米国企業の株式等を主要な投資対象として、S&P500の配当利回りを上回る配当利回りを目指します。また長期的な投資信託財産の成長も目指します。

ベンチマーク: Solactive® GFS United States 1000 Value Style Index TR(円換算)*
2006年8月末付で、Russell 3000® Value Index(円換算)からRussell 1000® Value Indexに変更となり、2023年1月1日付で上記ベンチマークに変更となりました。ベンチマークについては、これらを連続させて計算しています。

◆ 累積投資額・ベンチマーク騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.27%	2.11%	-6.28%	4.50%	83.71%	244.64%
ベンチマーク	1.82%	-1.21%	-6.00%	1.64%	86.67%	360.54%

◆ 基準価額、累積投資額 推移グラフ



*累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。

*基準価額は運用管理費用控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

(2023年3月31日現在)

	銘柄	業種	比率
1	エクソンモービル	エネルギー	4.17%
2	メタ・プラットフォームズ	メディア・娯楽	2.79%
3	ポストン・サイエンティフィック	ヘルスケア機器・サービス	2.76%
4	ダナハー	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.48%
5	シスコシステムズ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.07%
6	ウェルズ・ファーゴ	銀行	2.02%
7	プロクター・アンド・ギャンブル・カンパニー	家庭用品・パーソナル用品	1.79%
8	アストラゼネカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.74%
9	ユニテッドヘルス・グループ	ヘルスケア機器・サービス	1.71%
10	バンク・オブ・アメリカ	銀行	1.69%
組入全銘柄数:		105 銘柄	上位10銘柄合計 23.23%

*Solactive AG(以下、「Solactive」)は、Solactive® GFS United States 1000 Value Style Index TR(円換算)(以下、「本インデックス」)のライセンサーです。本インデックスに基づく金融商品は、いかなる形であってもSolactiveがスポンサー、保証、宣伝または販売するものではなく、Solactiveは、(a)金融商品への投資の助言、(b)本インデックスの品質、正確性、および/または完全性、および/または(c)本インデックスの使用によりいかなる個人または事業者が得る、または得るべきターンに関して、明示的または黙示的に表明、保証または確約をするものではありません。Solactiveは、本インデックスの計算方法または公表方法を変更する権利を留保します。Solactiveは、本インデックスの使用(または使用できないこと)の結果として被った、または発生した損害について、一切の責任を負いません。SolactiveはSolactive AGの登録商標です。Solactive® GFS United States 1000 Value Style Index TR(円換算)は、株式会社三菱UFJ銀行が発表する換算レポートをもとに委託会社が算出したものです。

・当資料は、フィデリティ投信株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

◆ ファンド概況

基準価額	14,224 円
純資産総額	1,444 百万円
設定日	2005年3月2日
決算日	原則、毎年3月10日、6月10日、9月10日、12月10日(休業日のときは翌営業日)
信託期間	原則無期限

◆ 資産構成比

(2023年3月31日現在)

実質株式組入比率	99.29%
うち現物	99.29%
うち先物	-
現預金・その他	0.71%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

当月の米国株式相場の主要指数の月間騰落率は、S&P500種指数が+1.46%、ダウ工業株30種平均は+2.48%、ナスダック指数は+0.04%となりました。

当月の米国株式は総じて上昇しました。地方銀行の預金流出や信用収縮など、金融不安による経済活動への影響が警戒されたものの、米国株式市場では大きな混乱がなく、小幅ながら総じて上昇する展開となりました。インフレ指標は各種まちまちの動きでしたが、雇用者の増加ペースは好調が続く、警戒されていた企業業績の落ち込みも見られませんでした。金融政策について、今後の利上げペースが鈍化するとの期待も相場を支えました。規模別では、小型株は出遅れましたが、大型株が堅調となりました。

当月の米ドル/円相場は、約2.31%の円安でした(1米ドル=133.09円→136.17円)。

(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMロイターを使用。)

◆ 組入上位5業種

(2023年3月31日現在)

業種	比率
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11.11%
金融サービス	9.38%
エネルギー	8.63%
資本財	7.55%
メディア・娯楽	7.00%

*各比率は、マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

*左記銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

*各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

iFree 外国株式インデックス(為替ヘッジなし)

【運用会社】 大和アセットマネジメント株式会社

2023年4月28日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

●外国の株式に投資し、投資成果をMSCI コクサイ指数(円ベース)の動きに連動させることをめざします。
●当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
・マザーファンドは、「外国株式インデックスマザーファンド」です。

■MSCIコクサイ指数は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。なお、MSCIコクサイ指数(円ベース)は、MSCIコクサイ指数(米ドルベース)をもとに、MSCI Inc.の承諾を得て委託会社が計算したものです。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI Inc. (「MSCI」)によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.73%	5.79%	-0.03%	6.08%	81.48%	146.49%
ベンチマーク	2.52%	5.10%	-0.94%	4.20%	73.13%	119.40%

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

◆ ファンド概況

基準価額	24,649円
純資産総額	298.03億円
設定日	2016年9月8日
決算日	11月30日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

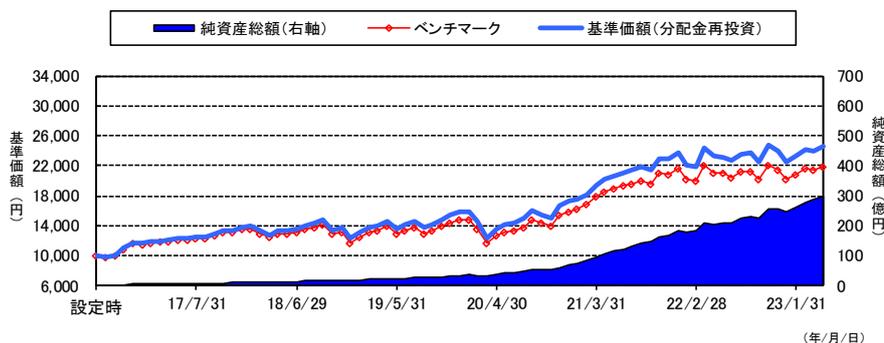
実質株式組入比率	100.00%
うち現物	94.26%
うち先物	5.74%
現預金・その他	5.74%

◆ 主なリスク

株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、カントリー・リスク等

※上記リスクについては、大和アセットマネジメント株式会社の基準に基づき表記しています。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※当ファンドはMSCIコクサイ指数(円ベース)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	業種名	国・地域名	比率
1	APPLE INC	情報技術	アメリカ	5.03%
2	MICROSOFT CORP	情報技術	アメリカ	4.05%
3	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	アメリカ	1.89%
4	NVIDIA CORP	情報技術	アメリカ	1.26%
5	ALPHABET INC-CL A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	1.21%
6	ALPHABET INC-CL C	コミュニケーション・サービス	アメリカ	1.11%
7	META PLATFORMS INC CLASS A	コミュニケーション・サービス	アメリカ	1.01%
8	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	アメリカ	0.90%
9	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア	アメリカ	0.86%
10	TESLA INC	一般消費財・サービス	アメリカ	0.81%
組入全銘柄数: 1270 銘柄			上位10銘柄合計	18.13%

※ 比率は純資産総額に対するものです。

※ 外国株式が含まれる場合、外国株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※ 業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

◆ 組入上位5ヶ国および5業種

国・地域名	比率	業種名	比率
アメリカ	72.12%	情報技術	19.25%
イギリス	4.63%	金融	14.45%
フランス	3.63%	ヘルスケア	13.08%
ドイツ	3.61%	資本財・サービス	9.46%
カナダ	3.57%	一般消費財・サービス	9.39%

・当資料は、大和アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

<愛称: BRICsプラスVA>

【運用会社】 **ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社**

【投資顧問会社】 **DWSインベストメントGmbH**

2023年4月28日現在

◆ ファンドの特色

・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
・毎決算時(原則として8月18日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益配分方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.51%	-5.80%	0.78%	2.65%	25.67%	28.31%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄*

	銘柄	国名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体・半導体製造装置	6.97%
2	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	メディア・娯楽	6.89%
3	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.42%
4	ICICI BANK LTD	インド	銀行	5.93%
5	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	中国	一般消費財・サービス流通・小売り	4.84%
6	WEG SA	ブラジル	資本財	4.56%
7	LARSEN & TOUBRO LTD	インド	資本財	3.84%
8	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.59%
9	HDFC BANK LTD-ADR	インド	銀行	3.30%
10	ULTRATECH CEMENT LTD	インド	素材	2.79%
組入全銘柄数: 47 銘柄		上位10銘柄合計		49.14%

◆ ファンド概況

基準価額	12,831円
純資産総額	2百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	97.03%
うち現物	97.03%
うち先物	—
現預金等	2.97%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

4月の新興国市場は国毎にまちまちな展開となりました。ブラジルのボバース指数は前月比+2.50%となりました。海外市場の堅調な推移が追い風となるなか、値頃感の強まりから買い戻しの動きが広がり、エネルギーや金融セクターが相場を主導しました。ロシアのRTS指数は前月比+3.69%となりました。原油市況の落ち着きや国内の景気見通しの改善に加え、配当の実施を決めた企業が複数見られたことなどが相場を押し上げる要因となりました。なお、当ファンドでは今月も大半のロシア株の取引が実質的にできない状態が続きました。インドのS&P-BSE SENSEX指数は前月比+3.60%となりました。インド準備銀行(RBI)が市場予想に反して政策金利を据え置いたことや、3月の消費者物価指数(CPI)の伸びが鈍化し、RBIのインフレ目標レンジの上限を下回ったこと、大手の石油化学品・繊維メーカーや銀行が好決算を発表したこと等が株価を押し上げる材料となりました。中国のハンセン中国企業株(H株)指数は前月比-3.83%となりました。米中の対立懸念が再燃したことや、大株主による株式の売却観測が嫌気された大手ネット株の株価下落が指数を押し下げる要因となりました。成長率の鈍化がより顕著になると思われるなか、米連邦準備制度理事会(FRB)は利上げを継続していますが、前半には一旦停止する可能性があります。また、米国の銀行危機は、信用収縮と成長鈍化の可能性を高めたと思われます。世界の経済活動は下半期に減速するとみられ、それにもない業績も伸び悩むと予想されます。中国は、世界の他の中央銀行が金融引き締めを継続している一方で、成長を刺激するために金融緩和を継続しています。また、世界景気が減速するなか、中国では経済活動の正常化に伴い景気回復が期待されるほか、これまで景気の足を引っ張っていた不動産セクターへの支援が続いていることもプラスの材料です。その他のアジア諸国については、経済活動の再開後、回復を続けており、今後は中国人観光客の増加による恩恵を受ける可能性もあります。長期的には、より質の高い企業にパフォーマンス面での優位性があると考えており、多くの銘柄は魅力的なバリュエーション水準で取引されています。こうした銘柄の株価は今後戻りを試していくとみています。なお、当ファンドではロシア株の取引が実質的にできない状態が続いています。ウクライナでは依然として戦闘が続いており、西側諸国とロシアの関係改善も見込まれない状況のなか、ロシアが非友好国とみなす非居住者投資家が取引を再開できるようにするには、かなりの時間を要すると思われる。引き続き情勢を注視しながら取引が可能となる等、何らかの進展があった時点で改めてさまざまな観点から状況を再評価する必要があると考えています。<ご参考>ロシアの株式ならびに預託証券等(以下「ロシア株式等」)の評価について2022年2月28日(現地時間)以降、ロシアの証券取引所が株式取引を停止し、また米国や英国等の海外市場もロシア株式等の取引を相次いで停止したことを受け、市場の流動性が大幅に低下している中、実勢を反映した時価の取得が困難な状況となっております。そのため、多くのロシア株式等について、ファンドの基準価額算出に使用する時には対円で為替変動のみが反映され、ロシア株式等の市場実勢が反映されていない状態が続いております。その後もロシア株式等の取引が事実上困難な状態が続いて、妥当性のある時価の取得が出来ない状況が続いていること等を受け、2022年3月22日時点の基準価額から、当ファンドで保有するロシア株式等の評価を「実質ゼロ評価」といたしました。なお、当資料基準日時点においても前述の評価を継続しております。※当資料基準日時点においても継続して取引が行われており、妥当性のある時価の取得が可能と判断される一部のロシア株式等については、従来通り、基準価額算出日の前営業日の終値で評価しております。

コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しています。

◆ 組入上位5カ国および5業種*

国名	比率
中国(含香港)	34.74%
インド	16.92%
韓国	14.80%
ブラジル	13.40%
台湾	8.49%

業種	比率
銀行	13.51%
一般消費財・サービス流通・小売り	10.95%
素材	10.49%
メディア・娯楽	8.72%
資本財	8.40%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

iFree 日本債券インデックス

【運用会社】 **大和アセットマネジメント株式会社**

2023年4月28日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

- わが国の公社債等に投資し、投資成果をNOMURA-BPI総合指数の動きに連動させることをめざします。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
- ・マザーファンドは、「ダイワ日本債券インデックスマザーファンド(BP1)」です。

■NOMURA-BPI総合の知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当ファンドの設定の可否、運用成果等並びに当ファンド及び同指数に関連して行われる当社のサービス提供等の行為に関して一切責任を負いません。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.24%	2.72%	0.59%	-1.27%	-4.07%	-3.48%
ベンチマーク	0.23%	2.74%	0.63%	-1.19%	-3.64%	-2.44%

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

◆ ファンド概況

基準価額	9,652円
純資産総額	44.83億円
設定日	2016年9月8日
決算日	11月30日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

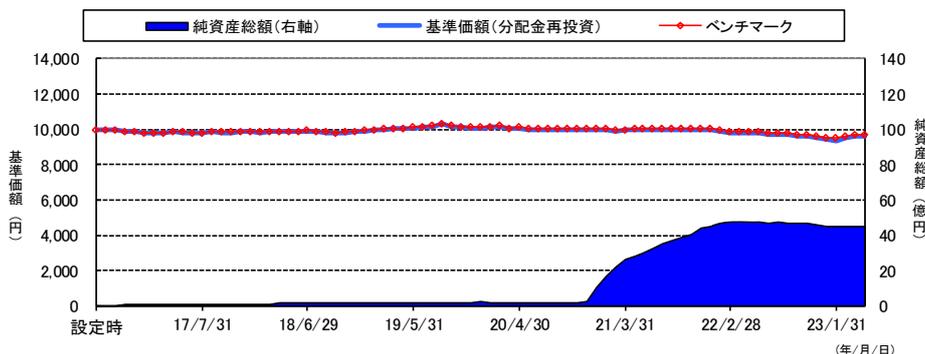
実質債券組入比率	99.36%
うち現物	99.36%
うち先物	0.00%
現預金・その他	0.64%

◆ 主なリスク

公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)等

※上記リスクについては、大和アセットマネジメント株式会社の基準に基づき表記しています。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※当ファンドはNOMURA-BPI総合指数をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	利率	償還日	比率
1	347 10年国債	0.100%	2027/06/20	1.77%
2	145 5年国債	0.100%	2025/09/20	1.57%
3	144 5年国債	0.100%	2025/06/20	1.44%
4	143 5年国債	0.100%	2025/03/20	1.39%
5	141 5年国債	0.100%	2024/09/20	1.37%
6	147 5年国債	0.005%	2026/03/20	1.28%
7	337 10年国債	0.300%	2024/12/20	1.22%
8	353 10年国債	0.100%	2028/12/20	1.15%
9	349 10年国債	0.100%	2027/12/20	1.10%
10	352 10年国債	0.100%	2028/09/20	1.10%
組入銘柄数: 300 銘柄		上位10位銘柄合計		13.40%

※ 比率は純資産総額に対するものです。

※ 債券ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

◆ 債券種別構成 および債券ポートフォリオ特性値

種別	比率
国債	88.36%
地方債	5.73%
事業債	4.36%
政府保証債	0.69%
円建外債	0.22%
---	---
---	---

	ファンド
最終利回り	0.41%
直接利回り	0.63%
残存年数	9.93年
修正デュレーション	9.17年

・当資料は、大和アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外国債(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

iFree 外国債券インデックス

【運用会社】 大和アセットマネジメント株式会社

2023年4月28日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

●外国の公社債に投資し、投資成果をFTSE 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動させることをめざします。
●当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
・マザーファンドは、「外国債券インデックスマザーファンド」です。

■FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.71%	3.19%	-3.75%	-0.62%	7.80%	21.74%
ベンチマーク	1.25%	3.13%	-3.22%	-0.04%	8.69%	22.43%

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

◆ ファンド概況

基準価額	12,174円
純資産総額	69.71億円
設定日	2016年9月8日
決算日	11月30日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

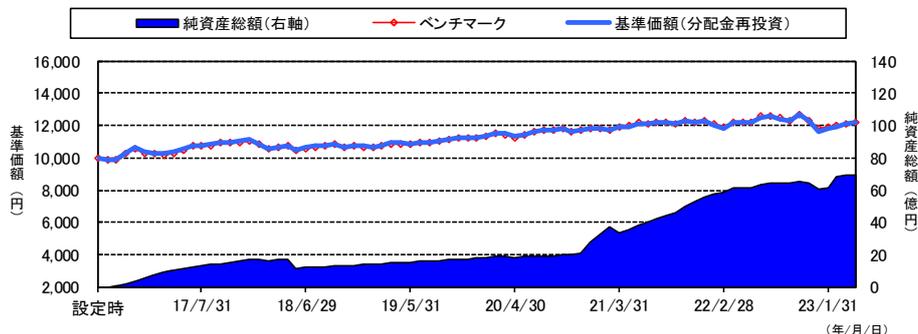
実質債券組入比率	97.53%
うち現物	97.53%
うち先物	0.00%
現預金・その他	2.47%

◆ 主なリスク

公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、カントリー・リスク等

※上記リスクについては、大和アセットマネジメント株式会社の基準に基づき表記しています。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※当ファンドはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	償還日	比率
1	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/02/15	0.49%
2	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/02/15	0.49%
3	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/08/15	0.48%
4	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/05/15	0.48%
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/08/15	0.47%
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/11/15	0.46%
7	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2030/11/15	0.44%
8	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/05/15	0.41%
9	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2026/05/15	0.39%
10	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2024/09/15	0.38%
組入銘柄数: 949 銘柄		上位10位銘柄合計		4.48%

※ 比率は純資産総額に対するものです。

※ 債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

◆ 通貨別構成および債券 ポートフォリオ特性値

通貨	比率
米ドル	49.36%
ユーロ	33.47%
オフショア人民元	4.96%
英ポンド	4.81%
カナダドル	2.04%
豪ドル	1.57%
メキシコペソ	0.90%
マレーシアリンギット	0.57%
ポーランドズロチ	0.49%
その他	1.82%
合計	100.00%

	ファンド
最終利回り	3.60%
直接利回り	2.47%
残存年数	8.53年
修正デュレーション	6.70年

・当資料は、大和アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券 (RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA (適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイインカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年4月28日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
 ・主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	1.91%	2.96%	-0.20%	3.33%	29.63%	90.71%

◆ ファンド概況

基準価額	19,071円
純資産総額	5百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド	49.11%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	48.78%
現預金等	2.11%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

4月は、変動が激しかった前月の動きから沈静化しました。米国の地方銀行の経営不安が警戒されたものの、物価指標の伸びが鈍化したことを受けて利上げ継続観測が後退したことなどを材料に、米国ハイイールド債市場は上昇しました。

4月は、ユーロ圏の3月のインフレ率がわずかながら鈍化したことや、米国のインフレ率の減速などがやや前向きに受け止められました。決算発表では一般的に予想通りか、予想をやや上回る結果となりました。当月は米国の地方銀行であるファースト・リパブリック銀行の経営が不安視されたものの、当局の迅速な対応が想定されていたことで市場では過度なリスク回避の動きはみられませんでした。こうした中で、国債利回りは短・中期を中心に上昇（債券価格は下落）し、クレジットスプレッド（国債との利回り格差）は格付が高い銘柄を中心に縮小、欧州ハイイールド債市場のリターンは上昇しました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	7.32%
平均直接利回り	4.81%
修正デュレーション	3.52年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄（・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等）を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA(適格機関投資家専用)
 <愛称:りそな ペア・ハイインカムVA>

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年4月28日 現在

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄	投資国	クーポン	償還日	比率
1	YUM! BRANDS INC	アメリカ	3.875%	2023/11/1	2.04%
2	CENTENE CORP	アメリカ	4.250%	2027/12/15	1.57%
3	GRAPHIC PACKAGING INTERN	アメリカ	3.500%	2028/3/15	1.53%
4	MOLINA HEALTHCARE INC	アメリカ	3.875%	2030/11/15	1.38%
5	HCA INC	アメリカ	5.875%	2029/2/1	1.32%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	BB-
平均最終利回り	7.34%
平均直接利回り	5.67%
修正デュレーション	4.24年
組入全銘柄数	192

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AAA	7.82%	BB	12.07%
AA+	-	BB-	16.31%
AA	-	B+	12.10%
AA-	-	B	11.37%
A+	-	B-	5.33%
A	-	CCC+	3.72%
A-	-	CCC	1.96%
BBB+	1.01%	CCC-	0.05%
BBB	3.62%	CC+以下 および無格付	1.34%
BBB-	12.76%	総計	100.00%
BB+	10.55%		

*現金等については「AAA」としています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

「りそな ペア・ハイインカムVA」が投資する「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI EURO LIQUIDITY SRI - Z (C) [※]	-	-	その他 [※]	2.87%
2	AMUNDI EURO LIQ SHORT TERM SRI - Z [※]	-	-	その他 [※]	2.55%
3	VMED 4.875% 07/28 REGS	4.875%	2028/7/15	イギリス	1.52%
4	TELEFO VAR PERP	3.875%	2026/6/22	スペイン	1.34%
5	IQV 2.25% 01/28 REGS	2.250%	2028/1/15	アメリカ	1.30%

※投資信託証券です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付 [※]	B+
平均最終利回り	7.62%
平均直接利回り	4.16%
修正デュレーション	2.94年
組入全銘柄数	237

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AA+	-	BB-	17.98%
AA	-	B+	10.79%
AA-	-	B	15.05%
A+	-	B-	7.38%
A	2.55%	CCC+	0.26%
A-	3.78%	CCC	0.20%
BBB+	-	CCC-	-
BBB	-	CC+以下 および無格付	0.70%
BBB-	4.28%	CASH	0.60%
BB+	16.16%	総計	100.00%
BB	20.26%		

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国国債(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2023年4月28日現在

◆ ファンドの特色

1.GIM新興国ソブリン・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2.マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.83%	0.17%	-0.90%	0.07%	26.55%	146.31%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)に税引前分配金を再投資して計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。基準価額は税引前分配金再投資、信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{*1}

(2023年3月31日現在)

順位	銘柄	国	通貨	比率
1	TURKEY USD 9.875% JAN28	トルコ	米ドル	2.14%
2	S.AFRICA USD 4.3% OCT28	南アフリカ	米ドル	1.89%
3	DOMREP 4.875% SEP32 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.73%
4	PEMEX 6.875%	メキシコ	米ドル	1.27%
5	TURKEY USD 5.25% MAR30	トルコ	米ドル	1.24%
6	COLOMBIA USD 8% APR33	コロンビア	米ドル	1.23%
7	TURKEY USD 4.25% APR26	トルコ	米ドル	1.22%
8	SAUDI ARABIAN 3.5% REGS	サウジアラビア	米ドル	1.13%
9	PEMEX 6.35%	メキシコ	米ドル	1.10%
10	EGYPT USD5.75%MAY24 REGS	エジプト	米ドル	1.09%
組入全銘柄数: 168 銘柄		上位10銘柄合計		14.03%

*1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ファンド概況

基準価額	6,785円
純資産総額	1,343百万円
設定日	2006年5月31日
決算日	原則毎月7日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	96.71%
うち現物	96.71%
うち先物	0.00%
現預金・その他	3.29%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

当月の米ドル建て新興国債券の利回りは、前月末比で低下(債券価格は上昇)しました。また、新興国スプレッド(米国国債との利回り格差)は前月末比で縮小しました。国別のパフォーマンスでは、エクアドルやエルサルバドルなどが上昇した一方、アルゼンチンやエジプトなどは下落しました。

当月は、月初は米国債利回りの低下を受けて新興国債券市場は上昇したものの、その後は中旬にかけては3月ISM(米供給管理協会)非製造業景況指数や多くの雇用関連指数が市場予想を下回ったことから、米国の景気減速懸念が重しとなり、市場は下落しました。しかし、下旬においては3月PCE(個人消費支出)デフレーターがインフレ鈍化を示唆したことなどから米国債利回りが低下したことを受け、新興国債券市場は上昇しました。

当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で上昇しました。保有債券の価格下落がマイナス寄与したものの、米ドルが対円で上昇したことや利金収入などがプラスに寄与しました。

国別ではチリなどの保有比率が上昇した一方、カザフスタンなどの保有比率は低下しました。

1-3月期における新興国リスクは、FRB(米連邦準備制度理事会)の政策決定を巡る不確実性と先進国の一部銀行の脆弱性等の外部要因により引き起こされました。直近、欧米で巻き起こった金融不安は、当社グループのグローバルや新興国の見通しを大きく変えるものではありませんでしたが、景気後退リスクは上昇していると考えます。新興国の金融政策については、金融引き締めサイクルは終わりに近づいていますが、しばらくの間、金融緩和の開始時期は不透明感が強まると見えています。

中国経済の正常化、及び予想を上回る世界的な需要などが新興国経済を下支えすると見えますが、今後は成長の鈍化、金融政策のタイト化、労働需給の緩和による影響でディスインフレーションの可能性が高まると考えます。こうした中、米ドル建て新興国債券は主にバリュエーションの観点から、引き続きBB格の銘柄などハイイールド債を愛好します。

当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含みます。

◆ 組入上位5カ国および5通貨^{*2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	11.62%	米ドル	99.05%
トルコ	5.97%	ユーロ	0.95%
ドミニカ共和国	4.82%		
インドネシア	4.60%		
南アフリカ	4.49%		

*2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB
平均デュレーション	6.58年
平均終利	8.62%

平均格付とは、債券資産等に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年4月28日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	2.81%	-2.59%	-5.15%	-12.60%	47.13%	91.44%

◆ ファンド概況

基準価額	19,144円
純資産総額	24百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.39%
現預金等	1.61%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

4月の海外REIT市場は、米銀行の預金流出に伴う金融システムへの不安による米国の商業用不動産をめぐる懸念などが引き続き相場の重しとなりました。一方で、米利上げ継続観測の後退や株式市場の上昇などが支えとなり海外REITは上昇しました。また、月末の日銀金融政策決定会合では、現在の金融政策が据え置かれたことにより円安・米ドル高方向となり、為替面でもプラスの寄与(円ベース)となりました。

日本のREIT市場は、月初は新年度入りに伴う需給改善期待やクレジット市場の悪化懸念が和らいだことなどから大きく上昇したものの、その動きは長続きせず上昇幅を縮めました。その後は、発表された決算が全般的に底堅い内容でバリュエーション面の割安感が高まるなか、米国景気の減速懸念が和らぎ、リスク資産選好の動きから堅調な展開となりました。月末の植田新日銀総裁下での金融政策決定会合では、現状の金融緩和策が維持されたことから上昇に弾みがつきました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国	通貨	比率
1	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	8.70%
2	EQUINIX	アメリカ	米ドル	5.84%
3	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	3.53%
4	DIGITAL REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	3.40%
5	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	3.17%
6	REALTY INCOME	アメリカ	米ドル	2.46%
7	AVALONBAY COMMUNITIES	アメリカ	米ドル	2.41%
8	GAMING & LEISURE PROPERTIES	アメリカ	米ドル	2.25%
9	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.18%
10	WELLTOWER	アメリカ	米ドル	2.02%
組入全銘柄数: 115 銘柄		上位10銘柄合計		35.97%

◆ 組入上位5カ国※

国名	比率
アメリカ	64.05%
日本	15.03%
オーストラリア	5.40%
イギリス	4.37%
シンガポール	3.33%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(RG)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年4月28日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.00%	0.01%	-0.04%	-0.06%	-0.20%	0.27%

◆ ファンド概況

基準価額	10,027円
純資産総額	487百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

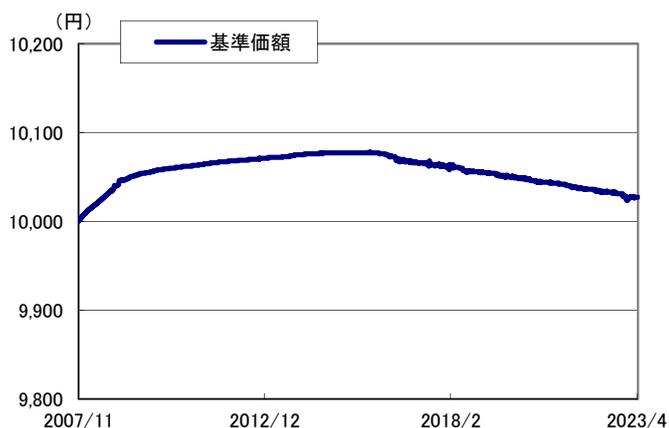
◆ 資産構成比

公社債	72.10%
現預金等	27.90%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第128回共同発行市場公募地方債	2023/11/24	51.51%
2	第375回大阪府公募公債(10年)	2023/8/29	20.59%
	組入全銘柄数 2 銘柄	合計	72.10%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意ください事柄

<投資リスクについて>

- 変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」は、一時払保険料から契約初期費用を控除した金額を特別勘定で運用し、その運用実績によって年金原資額、解約払戻金額、死亡保険金額、および積立金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定の運用実績の成果とリスク(価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等)は、保険契約者に帰属しますので、運用実績によっては年金原資額や解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、保険契約者に損失が生じるおそれがあります。

<お客さまにご負担いただく費用について>

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。

* 年金原資を一括で受け取る場合、「年金管理費用」はかかりません。

	項目	内容	費用	ご負担いただく時期等
ご契約時	契約初期費用	保険契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料より控除します。
積立期間中	保険関係費用※1	死亡保険金の最低保証や、保険契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用※2	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等※3です。	信託報酬は 年率1.045%程度(税込) 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払期間中	年金管理費用※4	年金の支払や管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 マネープール(RG)を選択した場合、マネープール(RG)の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日までマネープール(RG)の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用の詳細は、「特別勘定のしおり」でご確認ください。

※3 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。

※4 年金管理費用は、将来変更される可能性があります。

<その他>

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要/注意喚起情報>」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】



クレディ・アグリコル生命保険株式会社
〒105-0021
東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル
カスタマーサービスセンター ☎0120-60-1221
Webサイト <https://www.ca-life.jp/>